

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)和泉市室堂町計画 新築工事	階数	地上4F		
建設地	大阪府和泉市室堂町824-55の一部	構造	S造		
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2016年1月28日		
敷地面積	7,145 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション大阪工		
建築面積	1,685 m ²	確認日	2016年1月28日		
延床面積	6,467 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション大阪工		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.3</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>自走式の立体駐車場の一般建築物(閉鎖型建築物)ではなく、開放性のある建物として設計し、換気設備や、建築材料(内装)の使用を極力無くした設計をした。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>換気設備を設けずに、自然換気出来るように外周部に十分な開放性のある外壁面とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>外装設計において防錆対策として溶融亜鉛メッキ仕上げを採用</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>敷地内の空き地は極力植栽を配置した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁部の開口を開放することで自然換気、自然排煙、自然採光を積極的に利用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>構造部材と仕上げ材が容易に分解できる構造としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>道路沿いには極力植栽を配置し、景観に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0112

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)和泉市室堂町計画 新築工事(駐車場棟)					
	建設地	大阪府和泉市室堂町824-55の一部					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策	① CO2削減			
	② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.8	5	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体 住戸・宿泊	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		2.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				